

事業名：千葉県通学路推進事業（学校安全総合支援事業）

モデル地域：八街市八街北中学校区

拠点校：八街市立朝陽小学校

所轄教育委員会：八街市教育委員会

電話番号：043-443-1446

## 1 モデル地域の現状

○モデル地域名：八街市八街北中学校区

○学校数：幼稚園1園 小学校1校  
中学校1校

### (1) モデル地域の安全上の課題

下校途中の児童が巻き込まれる交通死傷事故が令和3年6月28日に発生した。モデル地域の通学路は、道幅が狭いわりに自動車の交通量が多い。児童生徒に対する交通安全教育の一層の充実が課題である。

## 2 モデル地域の事業目標

令和3年6月28日に発生した、下校途中の小学生5人が飲酒運転のトラックにひかれ死傷するという痛ましい事故を受け、こうした事故が二度と起こらないよう、通学路における安全を確保するための効果的な方策について、令和3年度から開始した八街市通学路安全対策事業を継続し、より効果的な安全教育について調査・研究及び実践を行う。

併せて、通学路における安全確保を目的とした学校安全推進体制を構築し、主に、交通安全教育や児童生徒による通学路安全マップづくりに係る取組の中で生じる課題とその対応策の検討、児童や保護者、教職員及び地域住民へのアンケートの実施とその効果評価に伴う分析・検証等を実施する。その成果を他地域に普及促進する。

## 3 取組の概要

### (1) 実施概要

実施時期	実施事項	参加者
4月	○教職員研修 講師：大阪教育大・藤田大輔教授	朝陽小職員、市教委
6月	○第一回北中学区連絡協議会	モデル地域職員、同PTA会長、同区長、児童生工委員、青少年相談員、警察、市教委
7月	○第一回実践委員会	学校、警察、交通安全協会、県教委、市教委
8月	○教職員研修 講師：文部科学省・安田弘秋氏 ○通学路点検 ・交通安全プログラム	市内小中学校職員、市教委 朝陽小職員、市関係部局等、市教委
9月	○児童目線による通学路点検・「聞き書きマップ」の活用	有識者（大学教授）、朝陽小職員、市教委
11月	○先進校視察・交流 ・安全主任研修会 ・高槻市教委訪問 ・金竜小SPS研修	朝陽小職員、市教委
	○学校安全アドバイザーによる通学路視察	モデル地域職員、市教委
12月	○第二回実践委員会 ○地域公開学習発表会	モデル地域児童生徒・職員、有識者（大学教授）、県教委、市教委、警察、交通安全協会、市

1 月	○SPS 推進員養成セミナーに参加 ○第二回北中学区連絡協議会	内小中学校職員、保護者、地域住民 朝陽小職員 モデル地域職員、同 PTA 会長、同区長、児童民生委員、青少年相談員、市教委、警察
-----	------------------------------------	--

#### 4 具体的な取組

##### (1) 安全教育の充実に関する取組

##### ア 安全教育の充実に関する取組

##### ① 実践委員会における情報共有

7 月、12 月に実践委員会を開催。実践委員会の中で情報交換の時間を設け、各学校の実践等について共有を図った。

<実践委員>

千葉工業大学教授、立正大学教授、帝塚山大学学長、日本自動車研究所職員、県教育庁北総教育事務所指導主事、八街市教育委員会学校教育課長・指導主事、八街市役所総務部防災課係長、朝陽小学校校長・教頭・安全主任・PTA 会長、八街北中学校校長・教頭・安全主任・生徒会担当・PTA 会長、八街市校長会長、佐倉警察署交通課長、佐倉交通安全協会事務局長・同八街支部会長・同八街北支部会長

##### ② 公開学習発表会の開催

モデル地域内拠点校を会場に、地域公開学習発表会を実施。

日時：令和 4 年 12 月 1 日

テーマ：危険を予測し、自ら回避できる思考力・判断力をもつ

た安全な未来をつくること  
 ができる子どもの育成

内容：小学校 1 年生から 6 年生の各学年で、安全を視点に入れた国語科・社会科・総合的な学習の時間での取組を地域の方々に発表した。中学校は生徒会活動での自転車安全点検や安全を守るための乗り方動画を公開した。

当日の授業の様子は動画配信サイトで共有するとともに、成果物としてパンフレットにまとめて、他地域へ普及を図った。

参加者：朝陽小学校児童・職員、八街北中学校生徒・職員、立正大学教授、千葉県教育委員会指導主事、八街市教育委員会教育長・教育部長・学校教育課長・指導主事、八街市校長会長、佐倉警察署交通課長、佐倉交通安全協会事務局長・同八街支部会長・同八街北支部会長、市内小中学校職員、朝陽小学校・八街北中学校保護者、地域住民

参加人数：128 人

他オンライン参加多数



③ 講演会の開催

モデル地域内拠点校において、文部科学省総合教育政策局男女共同参画共生社会学習・安全課安全教育推進室防災教育係長 安田弘秋氏による講演会を実施。その模様は、市内全幼小中学校にライブ配信し、全教職員が視聴。

日時：令和4年8月19日

テーマ：文部科学省が推進する学校安全について～東日本大震災の経験や学校安全全般から～

内容：氏が経験された東日本大震災被災時の避難所となった学校の様子、被災地の復旧・復興について、大川小学校事故から見た学校防災の課題、地域講師・地域素材を活用した防災教育の展開などが語られた。

参加者：拠点校職員、市教委、配信視聴により市内全小中学校職員

参加人数：拠点校 26人 3園 12校  
他オンライン参加 320人

④ 研修会の開催

モデル地域内拠点校の教職員を対象にSPSの考え方に関する研修を実施。

日時：令和4年4月14日

内容：大阪教育大学学校安全推進センター長・藤田大輔先生によるセーフティプロモーションスクールの考え方・進め方についての説明を受け、研修した。

参加者：拠点校職員

参加人数：29名

⑤ 学校安全アドバイザーの活用

ア 立正大学 教授 原田豊

派遣校数 1校

派遣回数 2回

イ 千葉工業大学 教授 赤羽弘和

派遣校数 1校

派遣回数 1回

ウ 帝塚山大学 教授 蓮花一己

派遣校数 1校

派遣回数 1回

エ (財)日本自動車研究所 主任研究員 大谷亮

派遣校数 1校

派遣回数 1回

**イ 安全教育の取組を評価する・検証するための方法について**

① モデル地域内小中学校の児童生徒を対象に意識調査と交通ルールおよびマナーに関するテストおよび意識調査等を、本事業を踏まえ実施する。また、学校安全アドバイザーの立正大学原田豊教授と千葉工業大学赤羽弘和教授より安全教育の取組について評価及び助言をいただいた。

② 八街市の成果指標

ア 児童が危険を予測・回避し、安全に行動できる能力や態度を育成するための安全教育（聞き書きマップの活用）を実施した学校の割合は、事業実施前と比較し11校増加し、100%となった。

イ 登下校時の安全確保について、地域住民・保護者の協力を得て、関係機関等と対策について、検討している学校の割合は、100%とな

った。

③拠点校におけるアンケート結果

- ア 一人一台PC端末を活用し、全校児童の校内でのケガの発生率・種類・原因等を調査した。発生率は事業実施前40%から実施後36%に減少傾向がみられた。
- イ ケガをする場所は、階段・廊下・校庭(グラウンド)が多く、児童の廊下歩行の仕方による原因があることがわかった。
- ウ ポスター・標識・カーブミラーの設置や児童によるパトロールの実施、ルール徹底等の対策により、児童の意識が変わり、ケガの発生率の減少につながったと考えられる。

**(2) 組織的取組による安全管理の充実に**

**関する取組**

- 児童目線による通学路点検を実施する際の保護者ボランティアの協力
- モデル地域内各校PTAとの連携
  - ・児童生徒の登下校の見守り
  - ・児童の登校付添
  - ・安全喚起ののぼり旗の作成設置
- 八街市PTA連絡協議会との取組
- 地域住民ボランティアの協力
  - ・登下校の交通安全見守り活動
- 学区連絡協議会との連携
  - ・地域の子どもたちに様子についての情報交換
  - ・地域住民への登下校の見守り要請
  - ・「子ども110番の家」設置事業への協力要請

**(3) 学校安全の中核となる教員の学校安全推進体制の構築における役割及び中核教員の資質能力の向上に係る取組に**

**ついて**

- 大阪教育大学学校安全推進センター主催の学校安全主任講習会参加
- 同センター主催の「セーフティプロモーションスクール(SPS)推進員」養成セミナー参加
- 大阪教育大学附属池田小学校視察
- 高槻市教育委員会訪問
- SPS認証校(東京都台東区立金竜小学校)とのオンラインによる情報交換

**5 取組の成果と課題**

**【成果】**

- 拠点校における児童の道路標識・交通ルール等に関する知識理解力や交通安全に関する危機予測意識が向上した。
- モデル地域小中学校の児童生徒の交通マナーに関する遵守意識の向上が見られた。
- モデル地域中学校生徒の自転車安全点検にて判明する不備が減少した。
- 児童が「車目線」「低・高学年目線」の動画を比較し、その特性や振る舞いの違いを客観的に認識できた。
- 通学路で得られた気づきを、メタバース空間に展示するなど、学校安全の「見える化」を工夫できた。
- 本市で取り組んでいる幼小中高連携教育の取組のひとつとして、入学前の園児に対して、安全クイズを作成し実施するなど、教育活動を通して年下への配慮を学ぶことができた。

**【課題】**

- 交通安全教育の継続は必須であり、そのための教育課程の編成や地域や

関係機関との連携を継続的に行っていく必要がある。

○通学路の安全確保のためにはハード面の道路環境の改善が必要であり、交通安全プログラム等を通じて働きかけを市や県に継続していかねばならない。

○八街北中学校区地域公開学習発表会  
当日の授業の様子は動画配信サイト  
YouTube 八街市公式チャンネルにて  
ご覧いただけます。(限定公開)

[https://youtu.be/RStFXX2W\\_V4](https://youtu.be/RStFXX2W_V4)

